

秋田さきがけ政経懇話会 県北政経懇話会 2月例会

秋田さきがけ政経懇話会の二月例会が二十一日、秋田市のイヤタカで開かれ、国際教養大理事長・学長の中嶋嶺雄さんが「グローバル化と人材養成―国際教養大学の挑戦」と題して講演した。同大の教育カリキュラムを例に、グローバル化に対応した人材を育成するための英語力養成の必要性を強調。「日本の英語教育の根本を変えなくてはならない」と述べた。中嶋さんは二十日、大館市のロイヤルホテル大館で開かれた県北政経懇話会でも講演した。

グローバル化と人材養成
 ―国際教養大学の挑戦
 中嶋嶺雄氏



ための外国語教育について、現在の日本の英語教育とされる国連職員は全体の4・5%。「貢献に見合った地位や存在感がほとんどない。それでは国際社会でリーダーシップを取ることはできない」と批判。

日本の現状に危機感
 英語力つける教育必要

英語力つける教育必要

中嶋さんは初めに、「グローバル化」を「全世界が同時に一体化すること」と定義。国と国との水平的な関係を示す「国際化」との違いを説明した。グローバル化は避けて通れない課題とした上で、その理由として▽国境が低くなる▽世界が同時進行する―の二点を挙げた。グローバル化へ対応するために次いで高いが、TOEFLの評価基準の一つとし、



中嶋さんの講演を聴く会員。④は大館市会場、⑤は秋田市会場



「TOEFLで、英語で仕事ができる目安とされる六百分以上を取る大学卒業生は0・01%程度で、ほかのアジアの国と比較しても低い。また、日本の国連の分担金の割合は約20%と米国に次いで高いが、TOEFLの国際教養大の英語教育について、TOEFLを英語力の評価基準の一つとし、

「TOEFLで、英語で仕事ができる目安とされる六百分以上を取る大学卒業生は0・01%程度で、ほかのアジアの国と比較しても低い。また、日本の国連の分担金の割合は約20%と米国に次いで高いが、TOEFLの国際教養大の英語教育について、TOEFLを英語力の評価基準の一つとし、

中朝 日本侵攻計画?

【ロンドン21日共】朝鮮戦争時にソ連軍五十万



画が議題となった。計画はソ連軍五十万

遠足ボート転覆
 児童ら18人死亡

ナクラム地区の川で二十日夕、小学生を乗せたボートが転覆し、十歳以下の児童十五人と教員三人が水死した。学校の遠足で野鳥保護区に向かうため児童と教

70年ぶり家系図改訂
 孔子の子孫
 180万人収録

【北京20日共同】春秋時代の思想家、孔子(紀元前五五―四七九年)の家系図の大規模な改訂作業が約七十年ぶりに進められ、最終的にこれまでの三倍に上る約百八十万人の「孔」姓の子孫が収録される見通しとなった。新華社などが二十日までに伝えた。

北朝鮮の核の構成を推測し、中距離弾道ミサイル「ノドン」に搭載可能な小型核弾頭を三個程度持つ可能性がある」と指摘した。

2007.2.22(木) 秋田さきがけ 総合 p8

北朝鮮の核の構成を推測し、中距離弾道ミサイル「ノドン」に搭載可能な小型核弾頭を三個程度持つ可能性がある」と指摘した。